

2021年12月28日  
デジタル田園都市国家構想実現会議（第2回）

# ローカルDXと地域活性化の実現に向けて

---

東日本旅客鉄道株式会社  
取締役会長 富田哲郎

# 1. ローカルDXと地方活性化の実現にむけて

自家用車がなくても  
シームレスに移動できる社会に

- 自宅から病院等への移動を容易に
- 行きたい時に行きたい場所への移動を可能に

交流人口・関係人口の創出

- 旅先での観光・アクティビティ・飲食等の検索・予約・決済がワンストップに
- 駅から離れた観光地への移動を容易に
- ワーケーション・第2のふるさとづくり・2拠点居住の推進

住民向けサービスのデジタル化

- 住民向け割引サービスを可能に／公共施設の入退館をデジタルキーに
- Suica1枚でマイナンバーカード所有者向けの特典を享受可能に
- 5Gを活用した遠隔医療・教育・サービスの実現

キャッシュレスの拡大

- 地域交通をICカード1枚で利用可能に
- 中小規模店舗・個人商店をキャッシュレスに

地域消費の活性化

- Suicaやデジタルチケットを通じ、地域の店舗や商店街でJRE POINTを利用可能に
- ECサイト「JRE MALL」を通じたふるさと納税で地産品の消費を拡大
- 採れたての鮮魚や野菜を新幹線・特急列車で新鮮なまま食卓に



ローカルDXと地域活性化を実現

Life



Suica



MaaS



Train

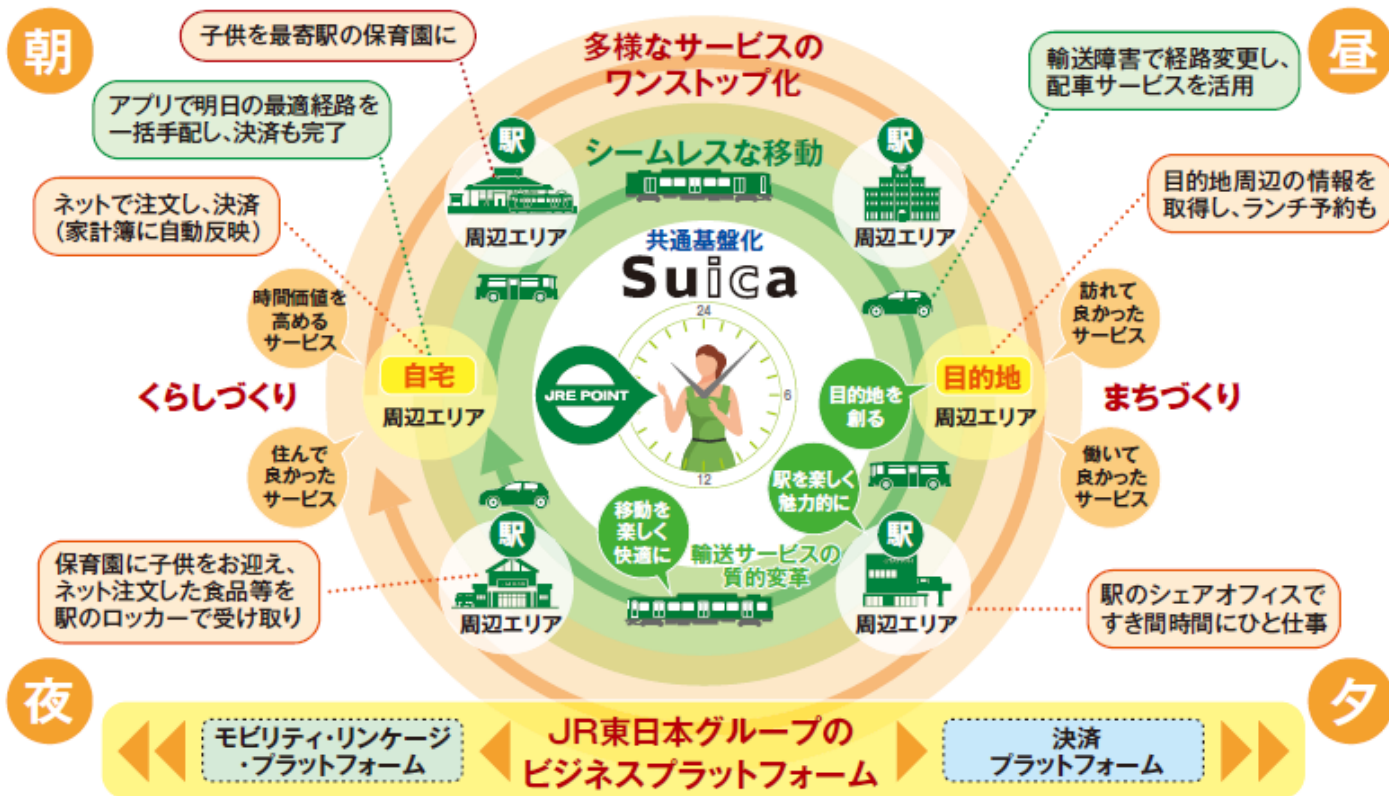


データ

5G

## 2. JR東日本グループが提供できる豊富なアプリケーション

■ 移動のシームレス化と多様なサービスのワンストップ化により、お客さまが24時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせ、移動・購入・決済等のサービスを利用できる環境を実現する。



## JR東日本グループの特徴

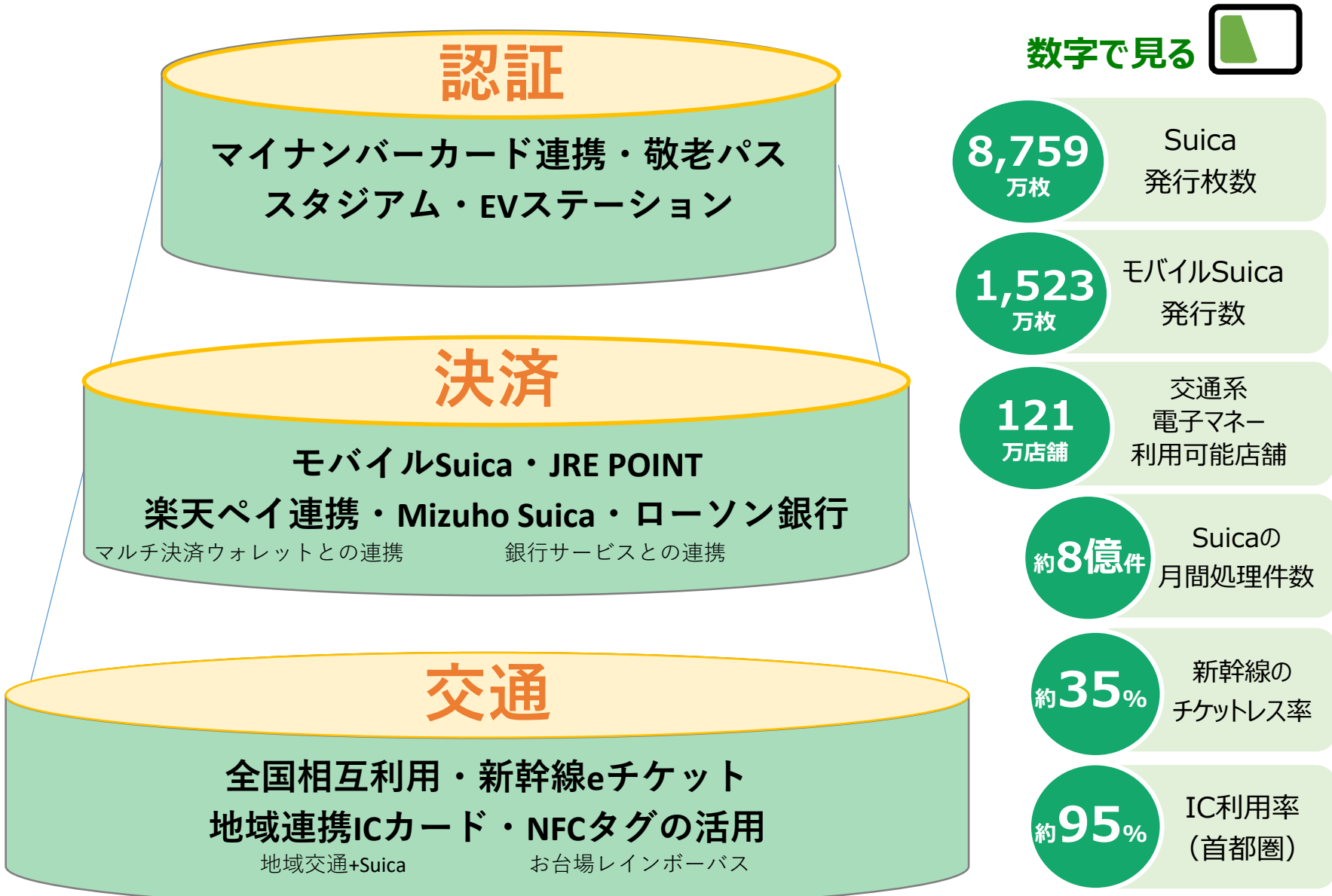
## リアルネットワークとデジタルネットワーク双方を具備

## 住民・訪問者双方にとって価値ある「オープンなDX」を実現

## 住民・顧客との「幅広く」「長い」エンゲージメント

## 長年の鉄道事業及び観光開発を通じて培った地域との信頼関係

### 3. 社会インフラとしてのSuica共通基盤



# 3-1. Suica共通基盤 交通分野 ①全国相互利用

交通系ICカードの相互利用により、Suicaで北海道から九州の各エリアにおける鉄道・バス等が相互利用可能。Suicaの利用可能エリアも順次拡大。

## ■ 全国交通系ICカード事業者エリア

近畿・岡山・広島・香川・北陸エリア

JR西日本

スルッとKANSAI



ICAS nimocaエリア

Kitacaエリア

札幌Suicaエリア  
(SAPICAエリア)

新潟Suica  
エリア

odessaエリア

仙台Suicaエリア  
icscaエリア

ICOCAエリア

nimocaエリア

はやかけんエリア

SUGOCAエリア

manacaエリア

TOICAエリア

PiTaPaエリア

東海エリア

名古屋鉄道

名古屋市交通局など

JR東海



北海道エリア

JR北海道



首都圏エリア

JR東日本



PASMO



## ■ Suica発行枚数

約8,759万枚  
(2021年9月時点)

## ■ Suica利用可能エリア拡大

- ▶ 2023年春以降、  
青森・岩手・秋田の各エ  
リア  
(計44駅)でSuicaが  
利用可能に。



九州エリア

JR九州



西日本鉄道など



福岡市交通局

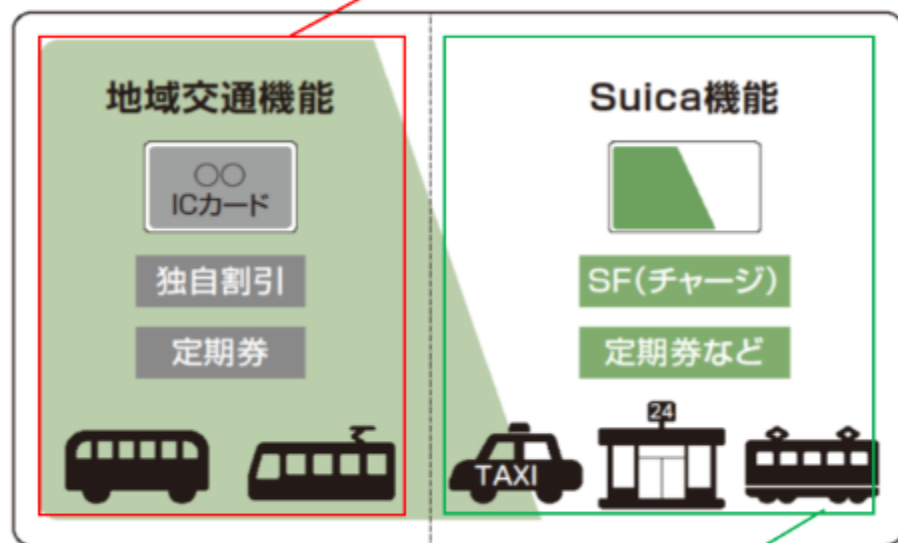


### 3-1. Suica共通基盤 交通分野 ②地域連携ICカード

地域交通の乗車券機能とSuicaの基本機能を1枚のカードにまとめた地域連携ICカードで地域交通事業者のIC乗車券導入を推進し住民や観光のお客さまの利便性を向上。

#### ■ 地域連携ICカードの概要

地域公共交通のさまざまなサービスをカバー



地域連携ICカードイメージ

Suicaとして、全国の鉄道、バス、加盟店でも利用可能

#### ■ 導入スケジュール

2021年 3月導入

2022年春

2023年春

栃木県 totora  
岩手県  
Iwate Green Pass

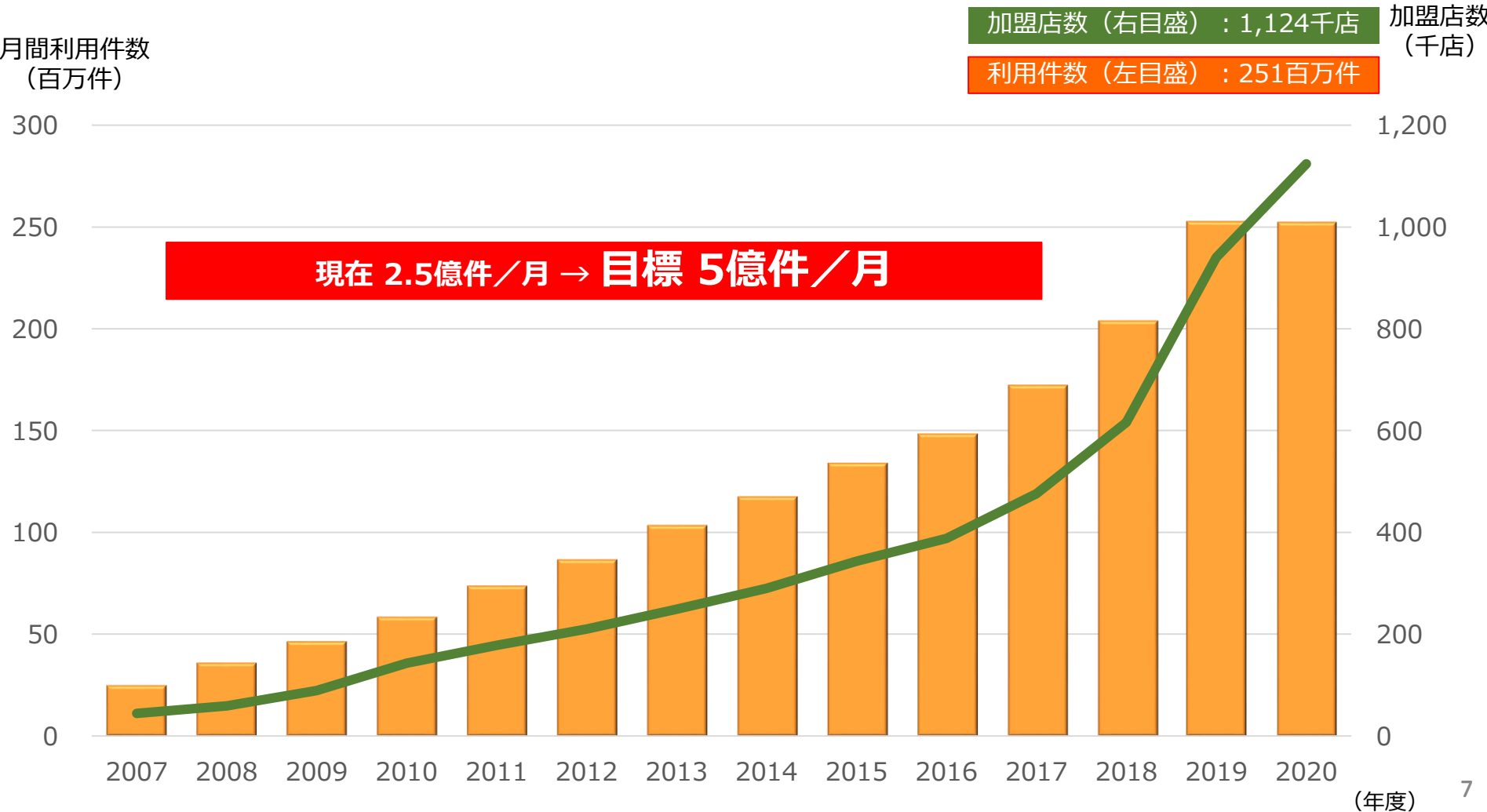
秋田県  
山形県  
群馬県  
青森県  
青森エリア・八戸エリア  
岩手県  
交通事業者追加

栃木県  
交通事業者追加

### 3-2. Suica共通基盤 決済分野

Suica等交通系電子マネー加盟店の拡大を進め、子供から高齢者まで安心してご利用できる決済手段としてより一層の浸透を目指す。

■ Suica等交通系電子マネー加盟店数・月間利用件数 ※月間利用件数は各年度のピークの月の件数





### 3-3. Suica共通基盤 認証分野

Suica認証サービスとマイナンバーカードの連携推進⇒マイナンバーカード取得率向上。



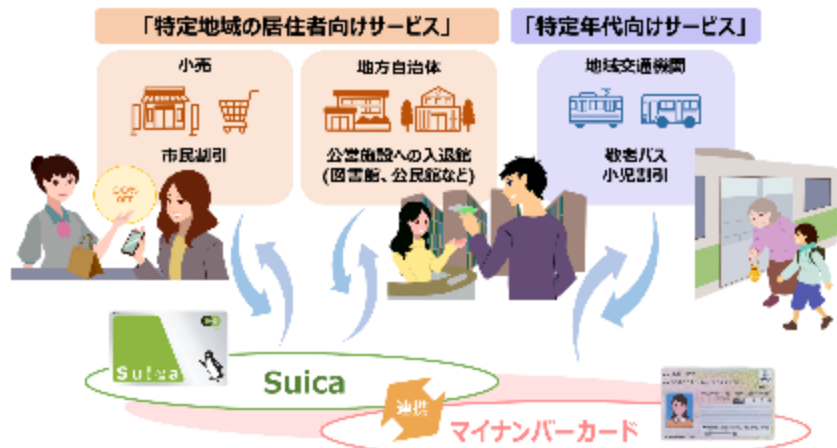
【MaeMaaS（20年12月～21年3月、21年10月～22年3月）】

- ①交通系ICカードとマイナンバーカードを紐づけて登録
- ②MaaSでデマンド交通を予約
- ③交通系ICカードのタッチでマイナンバーカードを所有する前橋市民であることを認証し、おトクな料金で支払い



【今後の展望】

マイナンバーカードを持ち歩くことなく、Suicaのみを携行するだけでマイナンバーカード所有者向けの特典を受けることが可能に。



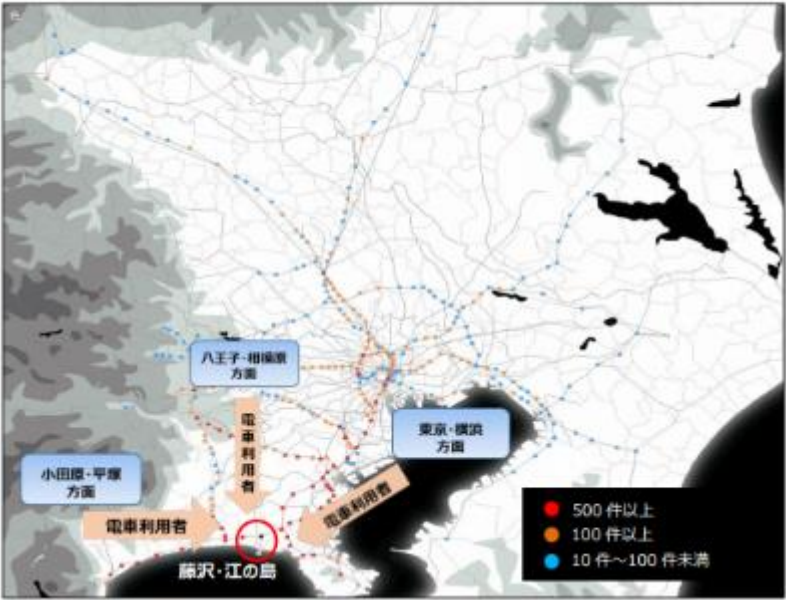


# 3-4. Suica共通基盤 データ活用

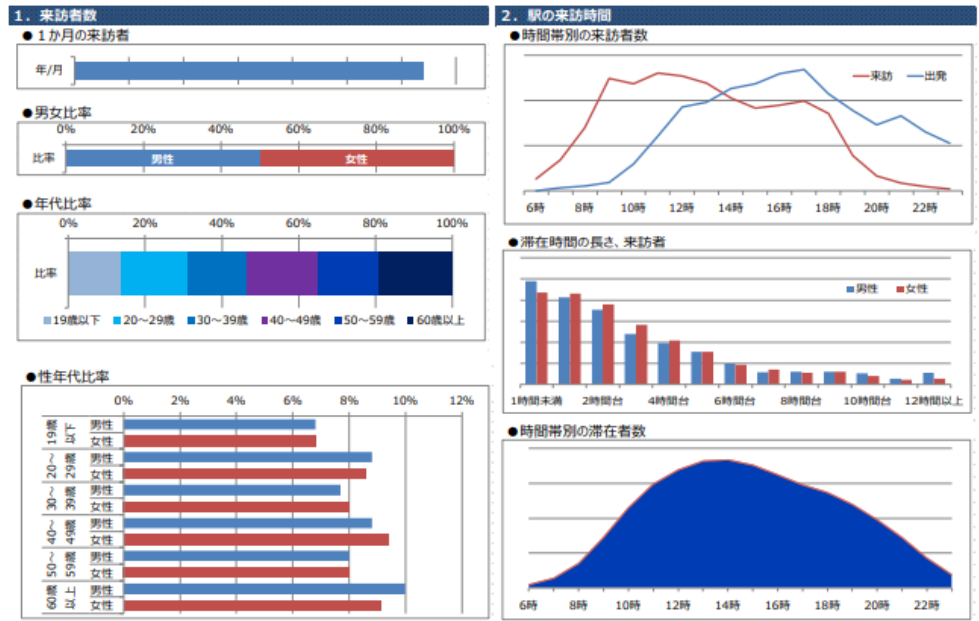
Suicaのデータをお客さま個人が識別されないよう統計処理して作成した分析レポートを、自治体の皆様の施策等に活用。

藤沢市様、藤沢市観光協会様との連携  
：電車利用者の行動分析レポートを活用し、藤沢市の観光施策のための基礎データや、コロナ禍による市内の観光への影響評価を実施。

(図) 図/数表イメージ  
※藤沢・江の島エリアの観光目的来訪者の1ヶ月間の出発駅毎の人数



※観光目的来訪者の1ヶ月間における人数、性別比率、年代比率、時間、滞在時間

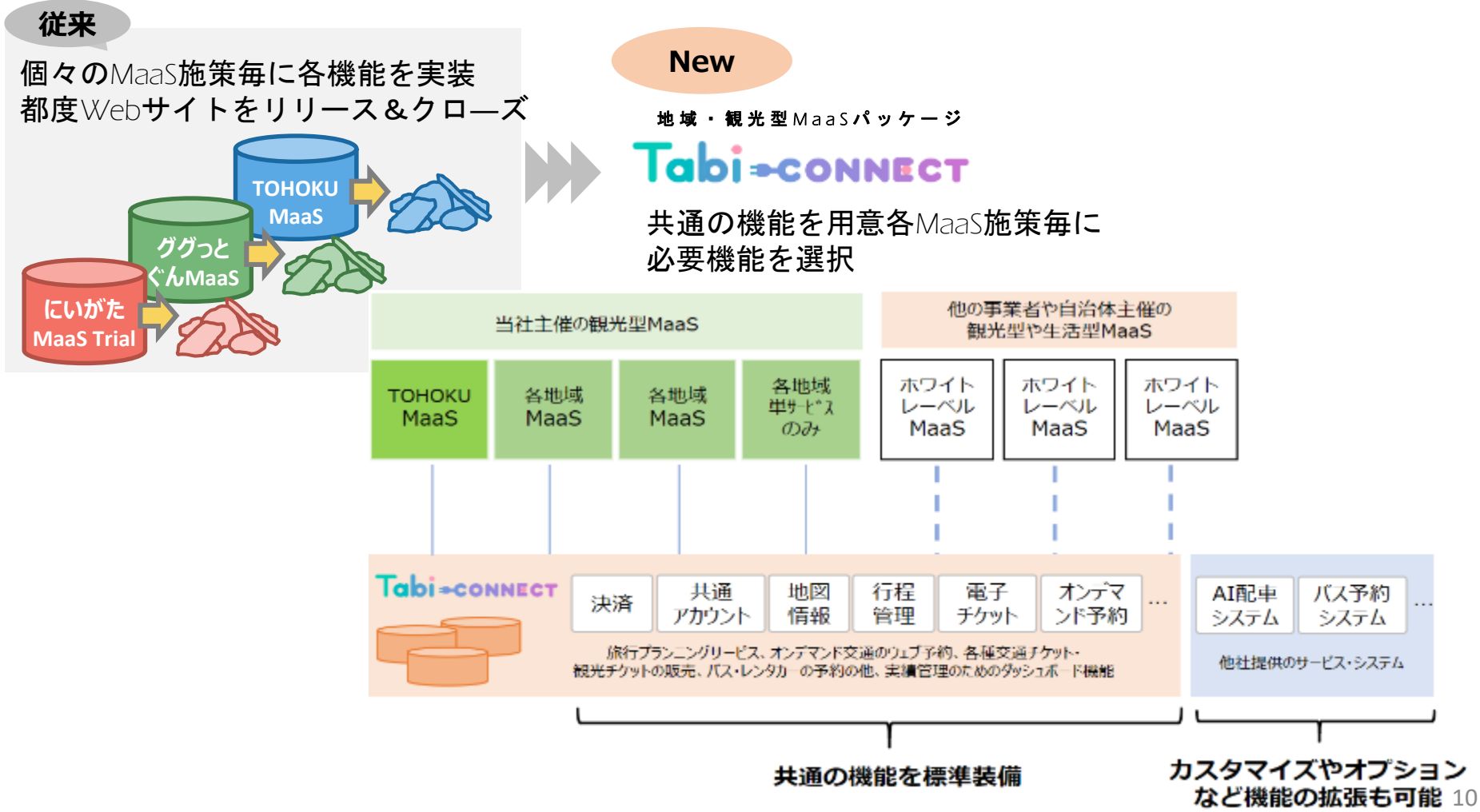


今後、MaaSのデータを活用し、観光のお客さまの動きを分析して観光施策に活かしていく。

# 4-1. MaaSプラットフォーム Tabi-CONNECTの展開

これまでの様々なMaaS実証実験で得た地域・観光型MaaSのノウハウをパッケージ化。

- 地域・観光型MaaSのパターンメイド化により、サービス構築・運営を効率化
- ホワイトレーベルとして自治体・他事業者主催の地域・観光型MaaSへの提供を開始



## 4-2. MaaSプラットフォーム オンデマンド交通（よぶのる一関）

オンデマンド交通は疲弊した地域における観光・生活の足となるべく展開していく。

### 課題

鉄道に乗って旅行に行ったが、駅から先の

地域二次交通が不便で行きたい所に行けない

## オンデマンド交通

デジタル化で効率的な配車が可能になった  
バスでもタクシーでもない移動手段の導入



(株)未来シェアのSAVS (※) を  
活用し、一関エリアのオン  
デマンド交通をフルデマン  
ド化 (2021年10月1日～)

※SAVSとは、タクシー（デマンド  
交通）と路線バス（乗合交通）の  
長所を掛け合わせた、AIによるリ  
アルタイムな便乗配車計算を行う  
サービス



(右上) SAVSイメージ

(右下) SAVSの配車イメージ

どちらも(株)未来シェアのHPより抜粋



1. デマンドに応じて車両が走行



2. 異なるデマンドが発生



3. リアルタイムにルート最適化

## 4-3. MaaSプラットフォーム 回遊軽井沢（西武HDと連携したMaaSの展開）

西武HDと連携し地域・観光型MaaS「回遊軽井沢」を2022年1月15日より開始します。

- 軽井沢町で初めてとなるオンデマンド交通「よぶのる軽井沢」の予約・決済
- 交通電子チケット（フリーパス・バスなど）の購入・利用
- 加盟店や、軽井沢エリアの西武グループ施設で利用可能なエキトマチチケットの購入・利用

回遊軽井沢を活用したモビリティサービスイメージ



エキトマチチケットとは、加盟店でご利用いただける1枚500円の電子チケット。



SWAT Mobility Japan(株)の技術(※)を活用したオンデマンド交通を実施

※ゼンリンの地図情報と機械学習に基づいたスピード情報をベースに、世界トップクラスのルーティング・アルゴリズムが最適ルートを提供する技術

(右) サービスイメージ

SWAT Mobility Japan(株)のHPより抜粋



運行エリア内で自由に移動可能

乗客は設定されたエリア内ならどこでも移動ができます。



常に最適化されたルート

同じ方向に行く複数の乗客を乗せ運行するために、常にルートを最適化します。

## 5. ローカルDXに向けた課題



Suicaマイナンバーカード認証端末の  
行政機関・交通機関・公共施設等への設置支援



地域・観光型MaaSおよび  
AIオンデマンド交通実装に向けた支援



地域キャッシュレス化に向けた  
地域事業者や店舗への環境・設備導入支援



ローカルDX推進のための基盤整備（5G）



多拠点居住やワーケーション推進に向けた  
リモートサービスの充実